



平井まこと

下妻市議会議員

日本共産党の議員としての誇りをもって

下妻市議会になくてはならない議席

- ①市政をチェックするという議員の役割を果たしてきました。
市民のためになるかどうかを基準に、良いものには「賛成」、ダメなものには「反対」してきました。「なんでも賛成」の議員だけでは、議会の役割は果たせません。
- ②毎回の議会に出席し(一回だけケガで欠席)、一般質問を毎回行い、「しもつま民報」で市民のみなさんに報告してきました。
- ③弱い立場の人の声を議会で代弁し、要求の実現、悩みの解決をめざしてきました。



みなさんと力を合わせて、実現できました



- 生活保護を国民の権利として申請をしやすくしました。
- 高齢者福祉タクシーの利用枚数を拡大してきました。
- 出産育児応援給付金を支給させました。
- 住宅リフォーム資金補助金制度をつくらせました。
- 大型ギャンブル施設の外車券売場設置を阻止しました。
- ごみ処理施設建設での談合問題で4億5千万円返還させました。

政治は 変えられる

埼玉
県議会

「虐待防止条例」自民取り下げ

子どもだけの遊びや登下校を禁止する条例案が、取り下げられました。自民党埼玉県議団が提出し、委員会では公明党も賛成、本会議での採決直前のことでした。PTAなど県民の殺到する批判が、撤回に追い込みました。

日本共産党の
「経済再生プラン」

「大企業の利益優先」を 根本から変える

ブレない、スジを通す
日本共産党

1 政治の責任で賃上げと待遇改善をすすめる



- 物価上昇を上回る賃上げ
- 中小企業支援とセットで最低賃金を1500円に
- 非正規雇用の待遇改善と正社員化の促進

2 消費税減税・社会保障充実・教育費負担軽減

- 消費税を緊急に5%に引き下げ、インボイス制度の撤廃
- 年金・医療・介護・福祉の充実
- 高等教育や学校給食費の無償化
- 教員や保育士を増やし子育て支援を拡充する

3 気候危機の打開・エネルギーと食料自給率向上

- 省エネと再生可能エネに転換し、脱炭素、原発ゼロの日本に
- 農畜産物の価格保障・所得補償の充実
- 食料自給率を早期に50%に引上げ、食と農業を守る

税金の使い方を变える



物価高騰のもとで、くらしと経営への支援をつよめます。

“子育てするなら下妻”をめざします

- 産科医の招致などで地元で出産ができるようにします。
- 保育園・幼稚園等の充実をはかります。

医療と福祉

- マイナンバーカード一本化・健康保険証の廃止に反対します。
- 高すぎる国保税を引き下げます。
- 生活保護を国民の権利として申請をしやすくします。

教育・文化

- 学校の一方的な統廃合に反対し、地域住民の意見を尊重します。
- 学校給食の「自校方式」を守り、給食の無償化をすすめます。
- 市民文化会館の解体に反対し、修繕し活用します。